

2021年度東京工業大学入学者選抜について（予告）（第2報）

2021年度（令和3年度）本学入学者選抜につきましては、平成31年3月22日付けで、予告として公表しましたが、現時点で決定している詳細な内容につきまして、次のとおり第2報としてお知らせします。

1. 大学入学共通テストについて

大学入学共通テスト（以下、共通テスト）の枠組みにおいて新たに実施される、国語の記述式問題の段階別成績表示についてはマークシート式の得点に加点して活用します。

記述式問題の評価は、総合段階の評価のみを利用し、50点満点とします。

各段階の得点への換算は、A 50点、B 38点、C 25点、D 12点、E 0点とし、マークシート方式の得点200点満点に記述式問題評価50点満点を加え、250点満点を200点に圧縮して使用することとします。

2. 「一般選抜（前期日程）」、「総合型選抜」及び「学校推薦型選抜」について

(1) 一般選抜（前期日程）、「総合型選抜」及び「学校推薦型選抜」における共通テストの受験を要する教科・科目

教科	科目
国語	「国語」
地理歴史、 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理、政治・経済」 から1科目
数学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」の2科目
理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目
外国語	「英語（リスニング含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1科目

注)「地理歴史、公民」において、指定した科目数を超えて受験した場合には第1解答科目の得点を用います。ただし第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、出願することができません。（この場合の第1解答科目とは、「地理歴史、公民」の試験時間に2科目を受験した場合において、前半の60分間で解答した科目のことをいいます。）

(2) 共通テストの配点

教科	国語	地理歴史、 公民	数学	理科	外国語	合計
配点	200	100	200	200	200	900

注)「外国語科目として英語を選択し、リスニングを免除された者は、リーディングの配点100点を200点に換算した得点とします。

- (3) 「一般選抜（前期日程）」、「総合型選抜」及び「学校推薦型選抜」の出願資格を、大学入試センターが認定した「資格・検定試験」（以下、「認定試験」）の成績が、CEFR対照表のA2以上を取得していることとします。

「認定試験」のCEFR段階別表示は、文部科学省の「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」に基づき、大学入試センターの大学入試英語成績提供システムより提供されたものを利用します。

- (4) 一般選抜、総合型選抜において、共通テストの成績をもとに2段階選抜を行います。選抜ごとの第1段階選抜の実施基準は次のとおりとします。

① 「一般選抜（前期日程）」

【全学院】志願者が募集人員の4倍を超えた場合、本学が指定する共通テストの5教科7科目（記述式問題（国語・数学）を含む）の成績（得点合計）により第1段階選抜を行うことがあります。

② 「総合型選抜」

【工学院，物質理工学院，情報理工学院，生命理工学院，環境・社会理工学院A（建築学系）環境・社会理工学院B（土木・環境工学系），環境・社会理工学院C（融合理工学系）】志願者が各学院等募集単位の約2倍を超えた場合、共通テストの得点等により第1段階選抜を行うことがあります。なお、学院等募集単位ごとの選抜詳細については決定次第公表します。

③ 「学校推薦型選抜」

【理学院】第1段階選抜を行いません。

- (5) 個別学力検査（一般選抜・前期日程）

① 個別学力検査（前期日程）における各科目の配点は、現行どおりとします。

科目	数 学	物 理	化 学	英 語*	合 計
配 点	3 0 0	1 5 0	1 5 0	1 5 0	7 5 0

② 英語* 科目については、筆記試験を課すとともに、「認定試験」の結果を活用します。

配点（150点）の内訳は、筆記試験120点、「認定試験」30点とします。

「認定試験」の結果の具体的な加点方法については、大学入試センターが認定したすべての「資格・検定試験」を加点材料として活用し、「認定試験」の結果をCEFRによる段階別表示により次の表のとおり点数化し、30点満点として筆記試験に加点します。

「認定試験」のCEFR段階別表示は、文部科学省の「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」に基づき、大学入試センターの大学入試英語成績提供システムより提供されたものを利用します。

C E F R	加 点
C 2	3 0
C 1	
B 2	2 5
B 1	1 5
A 2	5
A 1	出願資格なし

注) ケンブリッジ英語検定, 実用英語技能検定及びG T E Cは複数の試験から構成されており, それぞれの試験がC E F Rの対照関係として測定できる範囲が定められており, 当該範囲を下回った場合にはC E F Rの判定は行われないうこととなっています。

- (6) 大学入試英語成績提供システムに登録できる「認定試験」は例外措置対象者を除き, 大学を受験する年度の4月から12月の間に受検した最大2回分となっています。

本学ではシステムに1回分登録した場合は当該成績, 2回分登録した場合はC E F Rの段階別表示の良い方を利用します。

- (7) 例外措置について

「大学入学共通テスト実施方針(追加分)」(平成30年8月文部科学省公表)に示された例外措置を含み, 今後も文部科学省ならびに大学入試センターから公表される配慮事項等に準拠します。

なお, 既卒者については, 利用できる認定試験結果を受験年度の4月から12月の2回までとし, 前年度の試験結果は利用できないこととします。

また, 個別学力検査英語科目に関しては, これらの例外措置により, 不利益が生じないように配慮します。

以 上